

## 平成19年度 県小教研学習指導改善調査研究事業

### 研究実践協力校 見附市立上北谷小学校の取組

学校所在地・電話番号	〒954-0025 見附市牛ヶ嶺町1292番地	Tel. 0258-61-1150
校長氏名	長谷川 栄久子	児童数 75名

#### 改善事業の受け止め

当校では、一昨年度から 研究主題を「基礎・基本の確実な定着を目指した指導方法の工夫」副題を「主体的に学び、かかわり合いながら考えを深めていく学習を求めて」と設定し、授業の中で、子どもが主体的に学ぼうとし、子ども同士のかかわり合いを通して考えを深めていく学習に重点をおいて実践を重ねてきました。

また、昨年まで、国立教育政策研究所の「評価の工夫改善に関する総合的推進事業」を見附市内の全小中学校が受け、「評価規準の客観性や評価Aの姿の見取り」「発問や板書・支援の工夫」などについて他校と連携しながら研修し、教師の授業力の向上に努めてきました。

当校は、今年度、学力改善調査事業の研究協力校の指定を受け、今までの研究をさらに深め、授業の中で「思考力・判断力」「表現力」をつけるために授業研究を中心に日々の授業を改善工夫していきます。課題に対して自分の考えをもち、練り上げの場の設定で自分の考えを友達に分かりやすく伝え、友達同士、かかわり合って自分の考えを深めるようにしていきます。友達に分かりやすく伝えるためには、自分の考えを根拠や理由を明らかにしながら考え方や解き方を筋道立てて言葉を選んで説明する力が大切です。それが、「思考力・判断力」「表現力」につながると考えるからです。

#### 取組の概要

◎全学級担任が指導者を招聘しての公開授業研究を行う。（国語、算数、道徳、学活）  
研究の内容

(1) 指導内容の明確化（単元前の教材研究の視点）

①身に付けさせたい基礎・基本を明らかにする。（評価規準を明確にしていく）

- ・単元内、一単位時間内での基礎・基本（ねらいと評価規準が結びついてくる）
- ・評価規準に対する子どもの姿の見取りと達成するための手だての工夫

②単元の指導計画の工夫と一時間の中で主体的に課題に取り組み、かかわり合いながら学びを深める学習過程を工夫する。

③国語「書く」「読む」、算数「量と測定」「図形」「数量関係」の領域の育成を図る。

(2) 集団思考の場の充実（単元や授業でのかかわり合う段階）

①指導形態の工夫

- ・T.T体制による個に応じた指導の工夫や課題別グループ編成などを工夫する。

②教材の開発や提示の工夫と発問の工夫

・学習意欲を喚起し、自分の考えをもたせ、伝えたいという意欲をもたせる教材を工夫する。

- ・かかわり合い、考えを深める教材や発問を工夫する。

- ・全児童のかかわり合いを生む支援を工夫する。

③各学年部に応じた「話し方、聞き方」のルール作り

- ・かかわり合い、話し合いを有効にする「話し方・聞き方」の目指す姿の定着を図る。

#### 具体的な実践（取組）内容